



目指す学校教育の実現に向けた取り組み

目指す学校教育

誰一人取り残さない学校教育

学びをつなぐ

- 小中一貫教育の推進

子ども主体の学び

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 特別支援教育の推進

安全・安心な居場所づくり

- 不登校児童生徒への支援
- 教育相談の充実
- 子どもの居場所

家庭・地域とともに

- コミュニティ・スクールの活性化
- 市立柏高等学校の魅力化

生き生きと働き 学び続ける教職員

- 子どもと向き合う時間の確保
- 教職員研修の充実

学びを支える教育環境

- 将来を見据えた学校のあり方
- 新しい時代の学びを実現する学校施設の整備
- 安全・安心な学校施設の充実
- 心身の健康を支える給食の提供

※ 赤字が今回の審議会で取り扱うテーマ



3-2 安全・安心な居場所づくり 「教育相談の充実」

柏市の現状・取り組み

- 対面・インターネット等による**相談窓口の拡充**と、それに伴う人的配置
- 学校、教育支援センターとの連携による教育相談
- いじめ解消に向けての継続的な追跡調査を実施、その**解消率も高い**
- 「柏市いじめ防止基本方針」「いじめ問題対応の手引き」の策定。柏市いじめ問題対策連絡協議会の設置

方向性

- ① 学校間、関係機関、保護者、地域との**連携体制の強化**
- ② 生徒指導と教育相談の両輪による、学校の諸課題における**未然防止や早期発見・早期解決**
- ③ **いじめ発生時の適切な対応**

具体的対応

- 拡** 相談プラットフォーム「STANDBY」や心の健康観察「シャボテンログ」の活用促進
- 拡** **SC, SSW, 学級経営アドバイザー, スクールサポーター**の拡充。柏市問題対策支援チームの派遣
- 拡** 教育支援センターや教育支援室との連携による相談体制のさらなる充実
- 拡新** 児童生徒や保護者を対象とした、**情報モラル, いじめ未然防止, SOSの出し方教育等の出前授業**の充実
- 拡** 生徒指導、教育相談の充実に向けた、研修等を通じた教職員の資質能力の向上
- 継** 「柏市いじめ防止基本方針」や「いじめ問題対応の手引き」の更新

期待される効果

- 子どもと教員、保護者と教員の信頼関係の構築
- 学校の諸課題における**未然防止, 早期発見・早期解決**による子どもの心理的な安全確保

3-3 安全・安心な居場所づくり 「子どもの居場所」

柏市の現状・取り組み

- 柏市立こどもルームの入所児童数，利用率は年々増加（R6年度：入所児童数4,543人，利用率20.5%）
- 柏市立こどもルームの保留児童数（待機児童数）はR6年5月1日時点で131名
- 放課後子ども教室の開催【補充学習型】（ステップアップ学習会）
平日放課後に小学校の余裕教室等を利用して補充学習を実施（R5：40校，17.6日/校，登録者2,065名）。

方向性

- ① 放課後子ども教室【居場所型】の整備
- ② 放課後子ども教室【補充学習型／体験型】や夏休み子ども教室の継続

具体的対応

- 新** 放課後子ども教室【居場所型】の新規実施
- 継** 放課後子ども教室【補充学習型／体験型】の継続実施
→将来的には【居場所型】へ集約
- 継** 夏休み子ども教室の継続実施

期待される効果

- 子ども達が**放課後に安全・安心に過ごせる居場所**をつくり，遊びや体験活動などを通じて社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を育む
- **こどもルームの過密状態と待機児童の解消**の一助となる



4-1 家庭・地域とともに 「コミュニティ・スクールの活性化」

柏市の現状・取り組み

- 社会環境の変化に対応するために、地域と学校が連携・協働する組織的な仕組みが不可欠
- 全ての市立小中学校において、コミュニティ・スクールを導入
- 地域学校協働活動推進員の配置・養成

方向性

- ① 「地域の支援」から「**地域との連携・協働へ**」
- ② 個別の活動の総合化・ネットワーク化
- ③ 地域と学校の**コーディネート機能の充実**
- ④ 地域に開かれた学校，地域とともにある学校の実現

具体的対応

- 拡** 地域学校協働活動の推進・充実化・質の向上
- 拡** 地域学校協働活動推進員の拡充
- 拡** 地域に根差した学びの場や体験活動の場の拡充
- 継** 市教育委員会による各種活動の支援

期待される効果

- 「社会に開かれた教育課程」の実現
- **地域と共にある学校づくり**
- **学校を核とした地域づくり**



4-2 家庭・地域とともに 「市立柏高等学校の魅力化」

柏市の現状・取り組み

- 柏市立柏高等学校第3次教育計画の策定（R4）
- 授業や部活，進路指導など学校生活の満足度は高い
- 部活動と勉強の両立に困り感（生徒から） 学習意欲や主体性について課題（教職員から）

方向性

- ① **学習環境の充実**
- ② キャリア教育の推進
- ③ 地域と歩み続ける部活動
- ④ 積極的なイチカシの魅力発信（**県立学校との差別化**）

具体的対応

- 拡** **ICT教育の推進**（R5から市より一人一台端末を貸与）
- 継新** **施設面の維持管理**（施設等の実態把握及び整備計画の見直しや**新たな整備**（食堂・売店の設置，スクールバスの導入，照明のLED化等）
- 拡** 国際理解教育・異文化理解の推進
- 拡** インターンシップ活動の充実
- 拡** **地域とのつながりの深化**
- 拡新** 主体性を重視した教育活動の推進
- 拡新** ホームページ，SNS，広報かしわ等を活用した**積極的な情報発信**

期待される効果

- 学習，部活動のさらなる充実。**特色ある市立柏高等学校**に魅力を感じる志願者の増加
- 唯一の柏市立学校として，**より地域から応援され，愛される学校**となる

5-2 生き生きと働き 学び続ける教職員 「教職員研修の充実」

柏市の現状・取り組み

- 柏市教職員人材育成指針・指標の改訂（R6）
- 柏市管理職人材育成指針・指標の策定（R1）
- 中核市として、目指す教育の姿等をふまえた独自の教員研修を実施

方向性

- ① **体系的・計画的**に学びを進められる研修体系の構築
- ② 教育課題を解決するために必要な**職層に応じたマネジメント力の育成**
- ③ 主体的に学び続ける教職員の育成
- ④ 教職員のニーズ，教育課題に基づいた研修の実施

具体的対応

- 拡新** 教育課題解決に向け探究心を持ちつつ自律的に学ぶ「**アクションプラン実践研修**」の実施（R6～）
- 拡新** マネジメント能力を高める管理職研修の拡充
- 拡** 対話や実践の共有を通した，市内及び校内の**教職員同士のつながり強化**
- 拡** ICTを活用した多様なニーズに対応できる研修環境の充実
- 拡** 新たに対応すべき教育課題に対する研修の実施
- 拡** 研修で学んだことを実践につなげる「研修転移」の推進
- 拡新** ネジメント力の育成を目指した年次研修の体系化

期待される効果

- 「アクションプラン」が市内に浸透することで，教職員同士の対話を促進し，校内での**協働が活性化**する
- 自己のキャリアプランを意識しながら，**主体的に学び続ける教職員**の姿が広がる
- 受講者が，学校現場で成果につながる新たな行動がとれるようになり，研修成果が校内で共有される
- **教職員のスキルアップ**及び**学校の組織力が向上**する



追記

1-1 学びをつなぐ 「小中一貫教育の推進」

柏市の現状・取り組み

- 柏市小中学校連携教育ガイドライン策定（H24）
- 幼保こ小，小中連携教育
- 独自に小中連携を行っている中学校区もあるが，小中連携教育の取組については差がある。（挨拶運動やオンラインを活用した交流，児童会生徒会の連携など）

方向性

- ① 市内全校で小中一貫教育を推進。義務教育9年間を通して**系統性，連続性のある教育活動**を実施
- ② 小1プロブレムや小中ギャップ，心身発達の早期化に対応

具体的対応

- 新** 令和6年度より，小中一貫教育を推進する協力校による，**乗り入れ授業や行事での交流，教職員合同研修等の実施**
- 新** 令和7年度以降，小中一貫教育に向けて全市的な取り組みの推進
- 新** 義務教育学校の設置（必要な条件が整った場合）
- 新** 小中学校両校種免許状取得の促進（研修の推進や費用の補助）

期待される効果

- 義務教育9年間を支える，系統性・連続性のある**きめ細やかな支援・指導**
- 幼保こ～小学校～中学校への円滑な接続による，**小1プロブレム，小中ギャップの解消・緩和**



6-1 学びを支える教育環境 「将来を見据えた学校のあり方」

柏市の現状・取り組み

- 平成27年度に「柏市立小学校及び中学校の適正配置に関する基本方針」を策定
- 市全体として、将来的に児童生徒数が大幅に減少（30年後には22%減少）
- 増加する地域と減少する地域が混在し、学校規模の格差が拡大

方向性

- ① 小学校、中学校、義務教育学校について、**望ましい学校規模と学校配置及び通学距離を設定**する
- ② 現在63校の市立小中学校において、**単学級が発生する状況を解消**していく
- ③ 通学において、個々の学校や地域の状況を踏まえて、必要な安全対策を講じる

具体的対応

- 新** 将来にわたる児童生徒数の見込みや学校施設の老朽化状況等を勘案し、学校・地域ごとに個別に対応
【対応例】
 - ・ 望ましい規模を下回る学校：学校の統合、小中一貫校化、通学区域の再編等
 - ・ 望ましい規模を上回る学校：必要な学校敷地及び学校施設の確保、必要な教職員の配置、学区外就学の制限、校舎等の増築、通学区域の変更、学校の分離新設等
- 新** 望ましい通学距離を超えて通学する児童に対する安全対策の実施
 - ・ 保護者や地域等と連携・協力した安全指導、登校班の編成、交通安全指導員の配置、路線バスやカシワニクル等の交通手段利用の際の助成、スクールバスの運行等

期待される効果

- 子どもにとって**よりよい教育環境が確保**できる
- **教育の質の向上**が図れる

6-2 学びを支える教育環境 「新しい時代の学びを実現する学校施設の整備」

柏市の現状 ・取り組み

- 著しい社会情勢等の変化を踏まえ、学校施設が持つ社会的・福祉的な機能や役割も変化
- 学級単位一斉に黒板に向かい授業を受けるスタイルだけでなく、**学びのスタイルが多様に変容**
- 柏市役所ゼロカーボンアクションプランに基づく、環境に配慮した施設づくりや、大地震や昨今の豪雨に対応する避難所としての機能強化
- 昨今の夏場の猛暑を踏まえ、児童・生徒・教職員の健康管理や災害時における避難所環境の充実を図るため、体育館に空調設備を設置

方向性

- ① 「**個別最適な学び**」と「**協働的な学び**」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた**新しい学びを可能にする施設整備の推進**
- ② **環境に配慮**した施設及び**災害に強い**施設整備の推進
- ③ 健やかな学習環境を提供するため、**空調設備**の設置等、快適な生活空間を確保
- ④ 地域と連携・協働する空間や他の公共施設等との共用化・複合化の検討

具体的 対応

- 拡** 1人1台端末や三面ホワイトボード等を活用した、**多様な学習を展開でき、ゆとりのある教室環境を整備**
- 拡** 長寿命化改良工事や建替等のタイミングにおいて、次の取組を推進
 - ・環境に配慮した施設のZEB化や太陽光パネルの設置
 - ・避難所機能の強化を図るため、防災備蓄倉庫、災害に強い自立型空調設備、マンホールトイレ等の設置
- 継** 空調設備の耐用年数に応じた適切な機器の更新
- 新** 時代の変化に合わせた施設の有効活用

期待される 効果

- 全ての子ども達の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを充実させることができる
- 子ども達にとって安全・安心な教育環境を提供することができる

6-3 学びを支える教育環境 「安全・安心な学校施設の充実」

柏市の現状・取り組み

- 築40年以上経過した建物が全体の約7割近く（昭和40年代後半から50年代にかけて児童生徒数が急増）
- 平成30年度に「柏市立学校施設個別施設計画」を策定し、施設の中長期的な維持管理等に係る費用を縮減し予算の平準化を図る。当該計画に基づき、**建替えまたは長寿命化改良工事を実施**
- 市北部のつくばエクスプレス沿線駅周辺や市中央部の団地再生を進めているエリアの一部の学校では、学齢人口の増加に伴い教室数の不足が懸念され、**校舎等の増改築を進める必要**がある

方向性

- ① 近年の建設に係る現状（建設コスト増や人員不足等）を踏まえた計画の見直し
- ② 対応の優先度を考慮した改修または建替えの実施（優先度の低い施設は廃止等も検討）
- ③ 増加する児童生徒の需要に対応するため教室不足対策を実施

具体的対応

- 拡** 令和6,7年度の2カ年で「**柏市立学校施設個別施設計画**」の見直し
 - ・ 既に実施した工事内容の精査，状況変化による課題への対応
 - ・ 財政状況や児童生徒数の推移，教育環境等の変化，環境ニーズ（ZEB化等）への対応
 - ・ プールや武道場等，現行計画に明確な位置付けがない施設のあり方の反映
- 継** 各学校ごとの児童生徒数の推計や利用状況を踏まえた対応策の実施
 - ・ 特別教室等の利用状況を踏まえた，一時的な**普通教室への転用**
 - ・ 柔軟な学区外就学制度の運用
 - ・ 適切なタイミングにおける**校舎の増改築**
 - ・ 通学区域の見直し

期待される効果

- 計画的に施設改修等を行うことで，時代の変化に対応した，**安全で快適な教育環境を提供**できる
- 児童生徒数に見合った**必要な教室等の学校施設を確保**することができる



6-4 学びを支える教育環境 「心身の健康を支える給食の提供」

柏市の現状・取り組み

- 柏市の大部分の施設は、「学校給食衛生管理基準（平成21年）」が施行される以前に建築されており、学校給食に求められる衛生管理の更なる徹底を図るため、**施設の新増築や改築などが必要**
- 「柏市学校給食将来構想（令和6年3月）」を改訂し、給食施設のあり方を定めた
- 「柏市学校給食施設整備計画（令和6年3月）」を策定し、具体的な整備方針を定めた
- 「柏市学校における食育方針（令和6年3月）」を策定し、本市における食育方針を定めた

方向性

- ① 自校方式調理場の学校は**自校方式を維持**する
- ② **学校給食センターは建替え**を進める
- ③ 児童生徒が「食」に対する正しい知識や食習慣を身に付けるための献立や**食育を推進**する

具体的対応

- 拡** 「柏市学校給食施設整備計画」に基づき、自校方式調理場を更新
- 新** 学校給食センターの建替えの実施に併せて、自校方式調理場における改修等の工事期間中に給食を提供できる能力を整備
- 新** 食育の推進につながる、見える給食調理場を整備
- 新** 給食調理場への空調整備による、調理員の安全衛生の向上
- 拡** 地産地消の推進

期待される効果

- **安全・安心で美味しい給食**を**安定的**に提供することが出来る
- 食育の推進により、**食の大切さを学び、生きる力と豊かな人間性を育む**ことが出来る